

平成30年度



木津川市 予算のあらまし



もくじ

はじめに	1
平成30年度 木津川市予算一覧	2
一般会計歳入予算の内訳は	3
一般会計歳出予算の内訳は	4
グラフでみる一般会計歳入予算の推移	5
グラフでみる一般会計歳出予算の推移	6
平成30年度の主な事業	7
都市計画税に関係する事業	14
市民ひとりあたりの予算額	巻末

木津川市の予算
や事業をご紹介します。



木津川市マスコットキャラクター
いづみ姫

はじめに

予算とは？



©木津川市

地方公共団体は、住民のみなさんから納めていただいた税金などを財源として、いろいろな事務・事業（仕事）を行っています。年度の始まる前に仕事の計画とそれに必要な経費や財源について、1年間の収支計画である予算を作成しています。

市長は、市役所の各部署から提出された、翌年度に行う事務・事業の内容と、これに伴う1年間の収入額と支出額の案をもとに、限られた財源の中で行うべき事務・事業についての予算案を作成し、市議会へ提案します。

市議会は、提案された予算案について、さまざまな議論を重ねながら審議します。そして議会での決定を経て最終的に予算が決まります。

また、1年間のうちには、予算案作成時の計画と状況が変わることがあります。そのときには、補正予算案を作成して当初の計画変更を行います。もちろん、補正予算も議会での決定を経て決まります。

一般会計と特別会計について

一般会計は、市の仕事の中でも基本的な経費（例えば福祉や教育、道路、公園などの整備、管理などに必要なお金）についての会計（財布）であり、市財政運営の基本となるものです。

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の歳入が確保され、一般会計と区別する必要があるとき（区別した方が効率的な予算管理ができるなど）に、法律や条例に基づいて設けられます。

木津川市で設けられている特別会計は、下記のとおりです。
この冊子では、一般会計の予算を中心に説明します。



©木津川市

■国民健康保険特別会計

自営業の方や退職者などの医療費を給付する会計です。国民健康保険税が主な収入です。

■後期高齢者医療特別会計

75歳（一定の障がいのある方は65歳）以上の方の医療費を給付する会計です。後期高齢者医療保険料が主な収入です。

■介護保険特別会計

要介護（要支援）認定を受けた方の、介護給付費などを給付する会計です。介護保険料が主な収入です。

■財産区特別会計

市町村の一部で財産を有し又は公の施設を設けているものを財産区といいます。財産区それぞれの財産収入が主な収入です。

■水道事業会計

安全でおいしい水道水を供給する事業に関する会計です。地方公営企業法が適用される給水人口が5千人を超えるものをいいます。水道料金が主な収入です。

■公共下水道事業会計

水質保全・住環境の改善を図るため、下水道事業（汚水処理・施設整備）を行う会計です。下水道使用料が主な収入です。

平成30年度 木津川市予算一覧

(単位：万円、%)

会 計 別		平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	比 較		
				増減額	増減率	
一 般 会 計		2,833,600	2,968,800	△ 135,200	△ 4.6	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計		690,091	813,983	△ 123,892	△ 15.2
	後期高齢者医療特別会計		83,759	75,613	8,146	10.8
	介護保険特別会計		476,491	472,705	3,786	0.8
	旧北村旧菟並村旧里村 財 産 区 特 別 会 計		4,660	183	4,477	2,446.4
	旧加茂町財産区特別会計		110	120	△ 10	△ 8.3
	旧瓶原村財産区特別会計		590	583	7	1.2
	旧当尾村財産区特別会計		555	869	△ 314	△ 36.1
	水道事業会計	収益的収支 (収入:税込み)	169,244	176,938	△ 7,694	△ 4.3
		収益的収支 (支出:税込み)	174,544	176,938	△ 2,394	△ 1.4
		資本的収支 (収入:税込み)	19,766	51,545	△ 31,779	△ 61.7
		資本的収支 (支出:税込み)	59,450	89,813	△ 30,363	△ 33.8
	公共下水道 事 業 会 計	収益的収支 (収入:税込み)	234,869	238,668	△ 3,799	△ 1.6
		収益的収支 (支出:税込み)	237,869	238,668	△ 799	△ 0.3
		資本的収支 (収入:税込み)	48,196	61,869	△ 13,673	△ 22.1
		資本的収支 (支出:税込み)	100,182	115,352	△ 15,170	△ 13.2
特別会計小計 ※		1,828,301	1,984,827	△ 156,526	△ 7.9	
合 計 ⁵		4,661,901	4,953,627	△ 291,726	△ 5.9	

※水道事業会計および公共下水道事業会計については、収益的支出および資本的支出の額を合計しています。

一般会計歳入予算の内訳は

(単位：万円、%)

区 分	予算額	構成比
1 市税	946,125	33.4
2 地方譲与税	21,418	0.8
3 利子割交付金	2,320	0.1
4 配当割交付金	8,500	0.3
5 株式等譲渡所得割交付金	7,100	0.2
6 地方消費税交付金	109,230	3.9
うち税率引上げ分	44,977	1.6
7 ゴルフ場利用税交付金	7,820	0.3
8 自動車取得税交付金	8,400	0.3
9 地方特例交付金	11,710	0.4
10 地方交付税	529,000	18.7
11 交通安全対策特別交付金	785	0.0
12 分担金及び負担金	27,630	1.0
13 使用料及び手数料	58,097	2.0
14 国庫支出金	364,630	12.9
15 府支出金	196,313	6.9
16 財産収入	25,495	0.9
17 寄附金	1,300	0.0
18 繰入金	249,855	8.8
19 繰越金	0	0.0
20 諸収入	12,572	0.4
21 市債	245,300	8.7
歳入合計	2,833,600	100.0

■市税

市民のみなさんから市に納めていただいている税金(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)です。

市民税(個人および法人)では、納税義務者数の増などによる増加が見込まれ、固定資産税においても、一部事業所の保有資産の増による償却資産の増加などにより、市税全体では前年度当初予算と比べて0.5%、4,812万円の増加を見込んでいます。

■地方消費税交付金

市民のみなさんがお買物をされたときなどにお支払いいただいた消費税の一部が市に交付されるしくみとなっています。国の地方財政計画などによる試算から、前年度当初予算と比べて3.5%、3,700万円の増加を見込んでいます。

地方消費税交付金のうち税率引上げ分4億4,977万円は、社会保障制度の安定した財源として活用することを目的として交付されます。

■地方交付税

国税(所得税など)の一部から、地方公共団体の財政力に応じて国から交付されるお金です。

国の地方財政計画などによる試算や地方税収の増加、合併算定替特例措置の段階的な縮減(3年目)などから、前年度当初予算と比べて2.0%、1億700万円の減少を見込んでいます。

■国庫支出金

国が特定の事業などに対し交付する負担金や補助金です。

クリーンセンター整備事業費国庫交付金や臨時福祉給付金(経済対策分)事業費・事務費国庫補助金の全額減少などにより、前年度当初予算と比べて15.4%、6億6,550万円の減少を見込んでいます。

■繰入金

他の会計や基金(市の貯金)などから受け入れるお金です。

財政調整基金から10億6,509万円、公共施設等整備基金から9億648万円、減債基金から4億2,163万円、合併算定替通減対策基金から5,500万円を繰り入れるなどによって、歳入歳出の均衡を図っています。前年度当初予算と比べて10.4%、2億3,578万円の増加となっています。

主な基金は次のとおりです。



©木津川市

財政調整基金: 予期しない収入減少や支出増加といった年度間の財源の不均衡を調整するための基金

減債基金: 市債の償還に関する財源を確保し、健全な財政運営を図るための基金

公共施設等整備基金: 特定目的基金(特定の目的のために設けられた基金)のひとつで、公共施設等の整備の円滑化と促進を図るために設けられた基金

清掃センター建設整備基金: 特定目的基金のひとつで、クリーンセンターの建設整備の円滑化と促進を図るために設けられた基金

合併算定替通減対策基金: 特定目的基金のひとつで、平成28年度からの普通交付税合併算定替特例措置の段階的な縮減に備えるための基金

■市債

大規模な事業などを行うために、国や金融機関などから長期にわたり借り入れるお金を市債(地方債)といいます。

防犯灯整備事業債や新学校給食センター整備事業債が全額増加となる一方で、クリーンセンター整備事業債や東中央線整備事業にかかる街路事業債、中央体育館屋根等改修事業にかかる体育施設改修事業債の減などにより、前年度当初予算と比べて18.2%、5億4,750万円の減少となっています。

一般会計歳出予算の内訳は



歳出予算については、人件費や普通建設事業費などのように分類し、財政構造や財政運営の特質を知るために役立つ性質別と、議会費や消防費などのように分類し、行政サービスの水準や行政上の特性を知るのに役立つ目的別の分類方法があります。

(性質別)

©木津川市

(単位：万円、%)

区 分	予算額	構成比
1 人件費	440,343	15.5
2 物件費	416,074	14.7
3 維持補修費	42,769	1.5
4 扶助費	510,800	18.0
5 補助費等	520,023	18.4
6 公債費	328,190	11.6
7 積立金	15,568	0.6
8 投資及び出資金	5,788	0.2
9 貸付金	0	0.0
10 繰出金	188,129	6.6
11 予備費	3,036	0.1
12 普通建設事業費	362,880	12.8
補助事業費	86,705	3.1
単独事業費	251,950	8.9
受託事業費	0	0.0
府営事業負担金	24,225	0.8
13 災害復旧事業費	0	0.0
補助事業費	0	0.0
単独事業費	0	0.0
歳 出 合 計	2,833,600	100.0

■人件費

特別職と一般職員の給料や、議員や委員の報酬などの経費です。

人件費総額の抑制を図るための職員数の抑制や職員給与費の減額措置(平成30年度から3か年)により、前年度当初予算と比べて4.7%、2億1,924万円の減額となっています。

■物件費

需用費(消耗品費や光熱水費など)、役務費(通信運搬費や手数料など)、臨時職員賃金、旅費、委託料など消費的性質の経費の総称です。

ごみ処理事業における新クリーンセンター稼働による民間事業者への処理委託の減などにより、前年度当初予算と比べて14.1%、6億8,566万円の減少となっています。

■公債費

過去に借り入れた市債の元利金償還などに要する経費です。

将来負担の軽減のため、繰上償還を予定していることなどにより、前年度当初予算と比べて20.1%、5億4,864万円の増加となっています。

■普通建設事業費

道路や学校などの公共施設の整備に要する費用です。
新学校給食センター建設事業費や、木津中学校の改築校舎の都市再生機構立替部分の取得費などが全額増加となる一方で、クリーンセンター整備事業費の減などにより、前年度当初予算と比べて24.4%、11億6,876万円の減少となっています。

(目的別)

(単位：万円、%)

区 分	予算額	構成比	財源内訳	
			特定財源	一般財源
1 議会費	22,058	0.8	0	22,058
2 総務費	302,824	10.7	89,021	213,803
3 民生費	1,111,867	39.2	550,502	561,365
4 衛生費	270,324	9.5	34,019	236,305
5 農林水産業費	33,648	1.2	19,373	14,275
6 商工費	21,062	0.7	542	20,520
7 土木費	262,010	9.3	62,561	199,449
8 消防費	119,694	4.2	2,832	116,862
9 教育費	358,887	12.7	138,868	220,019
10 災害復旧費	0	0.0	0	0
11 公債費	328,190	11.6	54,510	273,680
12 予備費	3,036	0.1	0	3,036
歳 出 合 計	2,833,600	100.0	952,228	1,881,372

民生費や衛生費には、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、母子福祉、生活保護、国民健康保険、介護保険、年金、医療、疾病予防、健康増進などの施策(社会保障制度)を実施するための予算が含まれており、消費税率の引上げ分4億4,977万円は、そのための財源として活用します。



©木津川市

グラフでみる一般会計歳入予算の推移

自主財源と依存財源の区分でみると…

市が自主的に収入できる財源を自主財源、国や府などから得る財源を依存財源といいます。自主財源が多いほど自治体運営において安定した運営ができるとされています。自主財源比率は46.6%で、その大部分を占める市税は、平成30年度予算全体に対して33.4%の割合となっていますが、自主財源の中には財源不足を補うための基金繰入金があり、平成30年度予算全体に対して8.8%の割合を占めていて、当初予算としては過去最多の額となっています。

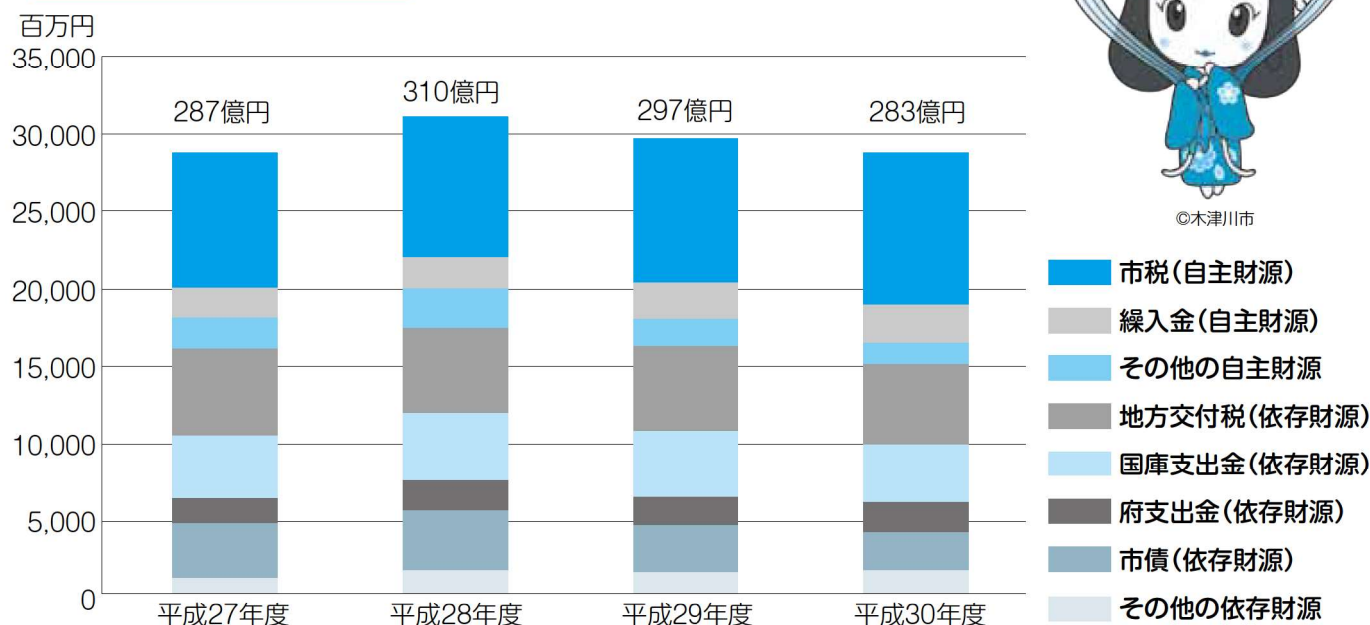
自主財源のうち市税の内訳をみると…

市税のうち市民税と固定資産税が大きな割合を占めています。市民税（個人および法人）では納税義務者数の増などにより、前年度当初予算と比べて1.2%、5,198万円の増加を見込んでいます。また、固定資産税においては、土地と家屋の分が減少となる一方で、一部事業所の保有資産の増による償却資産分の増などにより、前年度当初予算と比べて0.1%、499万円の増加を見込んでいます。

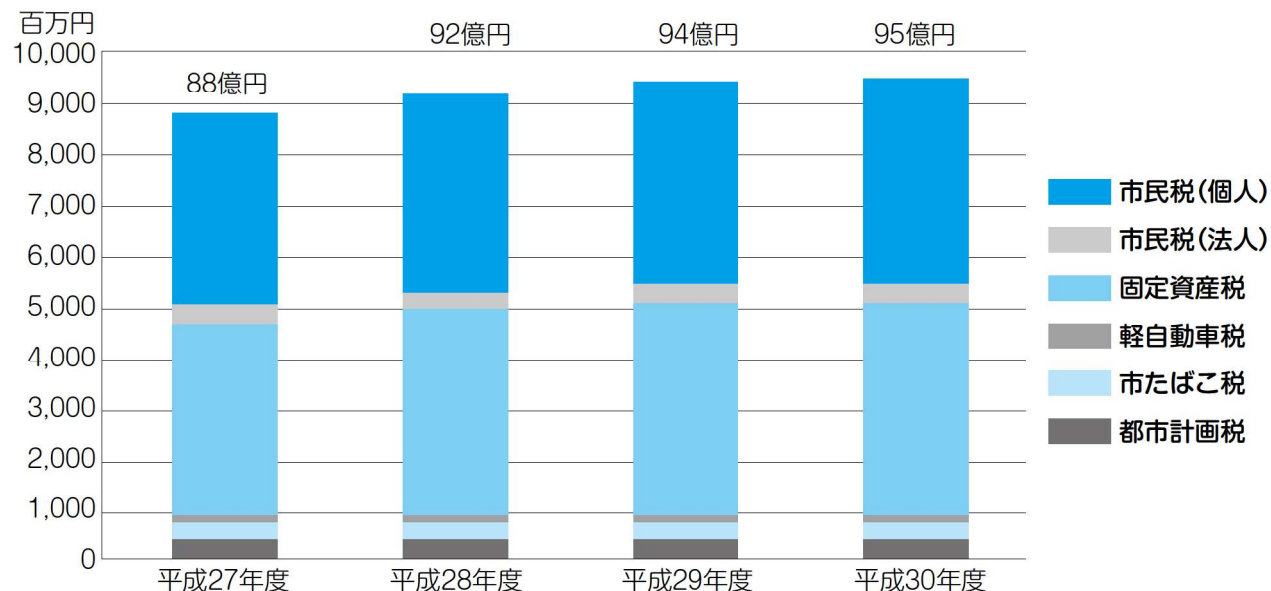


©木津川市

自主財源と依存財源



自主財源のうち市税の内訳



グラフでみる一般会計歳出予算の推移

歳出予算を性質別にみると…

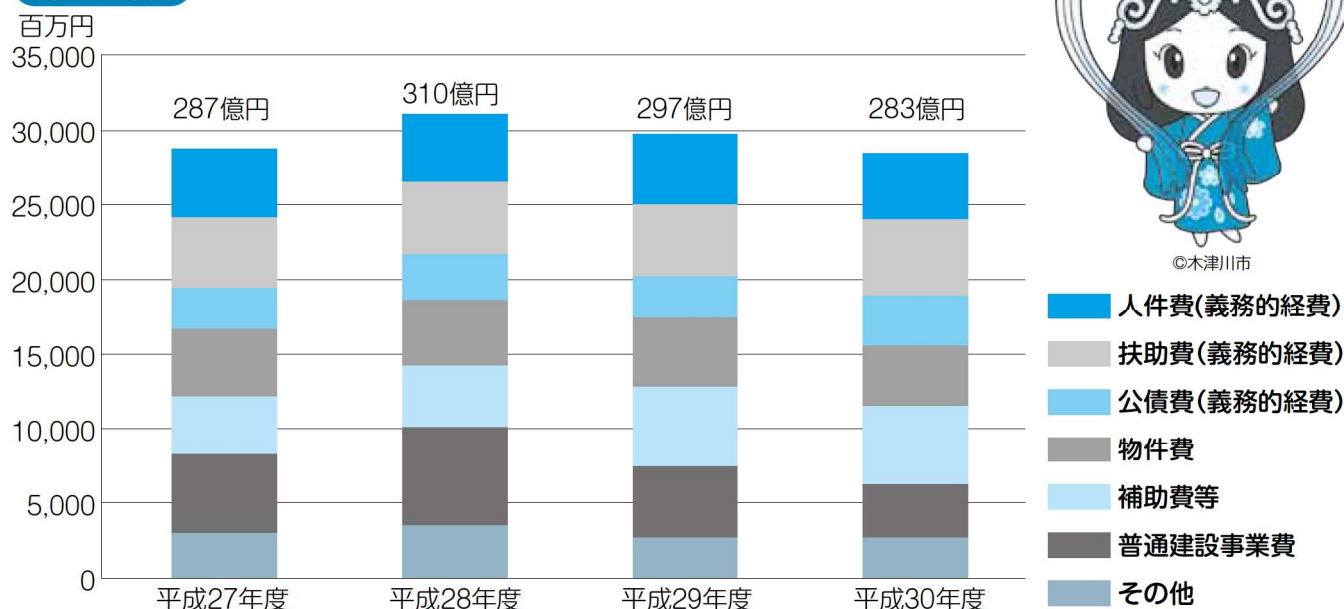
義務的経費である人件費（職員給与など）、扶助費（生活保護、医療費助成など）、公債費（市債の償還）の合計が、127億9,333万円で全体の45.1%を占めており、財政構造の硬直化を招くことがないように健全な財政運営のためには注意が必要です。

また、公債費において繰上償還などにより大幅な増額となる一方で、クリーンセンター整備事業費の大幅な減少による普通建設事業費の減などにより、平成30年度予算額全体としては、前年度と比較して4.6%、13億5,200万円の減少となっています。

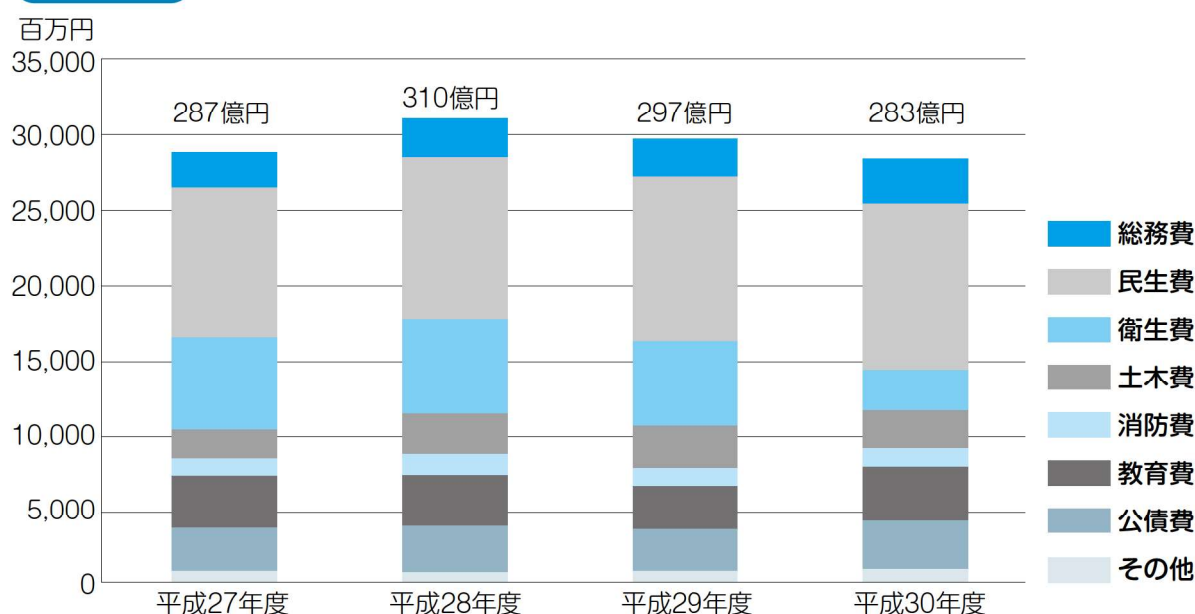
歳出予算を目的別にみると…

民生費は、前年度と比較してやや増加しており、平成30年度予算額全体に対して39.2%と、大きな割合を占めたまま推移しています。また、総務費では防犯灯LED化事業等により、教育費では木津中学校校舎取得や新学校給食センター建設事業等により、それぞれ前年度より増額となっています。一方で、衛生費では、クリーンセンター稼働に伴い、ごみ処理事業費やクリーンセンター整備事業費の大幅な減により、前年度と比較して52.2%、29億5,394万円の減少となっています。

性質別



目的別



平成30年度の主な事業

「第1次木津川市総合計画」の最終年度である平成30年度は、これまで推進してまいりました魅力あるまちづくりを継続しつつ、新学校給食センター建設に向けた取り組みをはじめ、防犯灯のLED化や、中央体育館・木津老人福祉センター・南加茂台公民館といった災害時の指定避難所に定めている公共施設の改修などに予算を重点配分しました。

それでは、木津川市総合計画の基本方針の区分に沿って、平成30年度の主な事業を紹介いたします。



©木津川市

まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる事業

■まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 3,929万円

「地方版総合戦略」に位置付けられた、地方公共団体の自主的・主体的な取り組みで、先導的なものを支援するため国において創設された、地方創生推進交付金を活用し、木津川市では次の事業を実施します。

- **今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業**…「お茶の京都」地域において、観光地域づくり関連組織や団体等と幅広く連携し、各地域の個別の取り組みを調整するとともに、山背古道推進協議会では、平成28年度に整備した観光アプリを活かしたイベントの実施や、古道沿線振興エリア内での消費喚起などを行います。
- **ふるさと応援事業補助金**…誰もが「住みたい・住み続けたい・住んでよかった」と実感できるような活力と魅力のあるまちづくりを目指すため、市内で頑張る個人・団体が主体となって取り組む、ふるさと応援事業を支援します。
- **京野菜・織物リジェネレーション事業**…国内外での見本市や商談会等への参加に対する補助や、「農(みのり)で頑張る協議会」と連携し、農業者と商業者のマッチングを通じた、木津川市産農産物や特産物の情報発信等に対する支援などを行います。
- **「健幸きづがわ」推進プロジェクト**…健幸クラウドシステムの分析結果によりロコモティブシンドロームの予防啓発に取り組むため、ロコモ度チェックの実施などを行います。
- **老若男女総輝き事業**…イングリッシュカフェやお茶教室の開催、和楽器体験の実施などにより、子どもと地域の大人たちとのぬくもりのある交流を促進します。

個性を活かした魅力ある地域文化の創造

■史跡指定地の公有地化 4,243万円

史跡恭仁宮跡(山城国分寺跡)を保存するため、史跡指定地の公有地化を進めます。

■高麗寺跡の整備 3,501万円

高麗寺跡を史跡公園として活用していくため、塔跡・金堂跡の瓦積基壇の復元用瓦を製作するとともに、小学生・市民等との協働による塔跡瓦積基壇の復元工事などを実施します。

■くにのみや学習館屋外トイレの設置【新規】 470万円

恭仁宮大極殿跡東側の仮設トイレが経年劣化しているため、これを撤去し、新たにくにのみや学習館敷地内にユニット型屋外トイレを設置します。

■歴史文化基本構想の策定【新規】 74万円

平成30年度から4年計画で木津川市における文化財の保護活用プラン「木津川市歴史文化基本構想」の策定に着手します。1年目は、事前把握調査と市内の文化財の悉皆調査を実施します。

■地域の文化財資料の調査と活用【新規】 205万円

平成30年度から3年計画で市内社寺(現光寺、大智寺、海住山寺、岡田鴨神社)が所蔵する資料の調査を実施し、近世初頭における木津川市内の歴史的事象について検証を行います。今年度は、現光寺の土蔵から平成27年に見つかった文書史料の詳細調査や目録作成を行います。



整備工事中の高麗寺跡

地域力を活かした産業・事業の創造

■観光振興 3,725万円

民間事業者と協力したまちかど観光案内所の管理・運営をはじめ、社寺秘宝・秘仏特別開扉の実施、木津川市メインパンフレットの更新、キヅガワゴンの活用など、豊富な観光資源のPR活動を行います。

■企業・研究施設の誘致など 2,506万円

企業立地促進のための助成をはじめ、京都府や新産業創出交流センターとの連携により、先端技術を持つ企業の誘致の推進を図ります。

■地域農業再生事業 208万円

付加価値の高い環境にやさしい米の生産の拡大のため、エコファーマーを取得した農業者による「特別栽培米 やましろの恵」の生産への支援などを行います。

■木津かんがい排水事業 3,430万円

施設整備後20年以上が経過し、老朽化している揚水機や分水施設を補修するとともに、水管理システムの更新や取水口の整備などを行います。

■土地改良事業 2,540万円

土地改良施設の適正な維持管理による施設の長寿命化と一元管理による迅速な災害復旧対応に資するため、土地改良施設管理システムを構築します。また、竣工後46年が経過し、老朽化した千両岩揚水機場の建屋と電気設備の改修に対して補助を行います。

■瓶原大井手用水路の改修 2,005万円

瓶原大井手用水路の下流部において、改修後60年が経過し、老朽化により安定した水量供給が確保できないため、水路の補修整備と管理道路の整備に向け、平成30年度は測量調査設計を行います。

■林道の改良事業 450万円

豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、林道今ヶ谷線の軟弱化と洗掘を防ぐため、舗装工事を行います。

■木造住宅耐震改修サポート補助金 110万円

木造住宅耐震改修の促進と、市内経済の活性化のため、国・府制度への上乗せ補助（事業期間3年のうち3年目）を行います。

今年度は木津川アート2018が開催されます！
今回のテーマは「恋する恭仁京。」とし、加茂町瓶原地域で行います。開催に必要な経費と、木津川アート作品の購入経費として920万円を計上しています。



©木津川市

誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造

■災害に強い森づくり事業 1,797万円

既存治山ダム等の堆積土砂等の撤去および荒廃した森林の健全化を図るため、民家に隣接する危険木の伐採等森林整備を実施します。

■旧大野排水樋門の撤去 4,119万円

京都府施行の赤田川改修事業に伴い、大野排水樋門の移設が必要であるため、旧樋門を撤去します。

■市道の舗装修繕 2,765万円

路面性状調査結果に基づき、市道の舗装修繕を行います。

■橋りょうの修繕など 7,800万円

橋りょうの設計調査をはじめ、豊楽橋の補修工事や5橋の補修設計を予定しています。

■急傾斜地の崩壊対策 150万円

加茂町大野地区で京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対する負担金です。

■内水対策 9,407万円

木津川の増水時における浸水被害を軽減するため、排水ポンプ車1台および可搬式パッケージポンプ、発動機発電機3セットを購入します。

■河川改修 8,626万円

石積み護岸の老朽化が進行する南河原川の改修工事や、京都府による赤田川改修事業に伴い必要となる部分の、貝鍋川改修等の工事を行います。また、家屋浸水被害の防災・減災対策として反田川から旧反田川への逆流防止装置を設置するための測量設計や、木津小学校北西方向の小川への排水施設改修のための測量設計を行います。

■小川内水対策【新規】 1,228万円

木津合同樋門の排水能力アップを図るため、内水対策施設の検討および予備設計を行います。

■ため池の調査点検 4,856万円

ため池機能の保全と防災機能の強化を図るため、堤体の老朽化が進む梅谷新池1号と梅谷古池の改修に向けた調査・設計を行います。

■木造住宅の耐震診断・耐震改修支援 360万円

地震に強いまちづくりを推進するため、昭和56年5月31日以前に着工され、現に完成されている木造住宅に対する耐震診断士の派遣、耐震改修費用（本格耐震改修、簡易耐震改修、耐震シェルター設置）の補助を行います。

■空家等の対策 17万円

平成29年度に策定した木津川市空家等対策計画に基づき、計画の進捗状況や特定空家等の認定等について協議するため、空家等対策協議会を開催します。

■防犯カメラの設置 157万円

JR棚倉駅南北駐輪場に防犯カメラ（計4台）を設置し、利用者の安全確保および盗難の防止を図ります。また、地元等からの要望に基づき、木津・加茂・山城の3地域に1台ずつ防犯カメラを設置することで、防犯対策の強化を図ります。

■消防団の強化、初期消火力の向上 1,341万円

老朽化した小型動力ポンプ付積載車（2台）を更新し、初期消火力の向上を図ります。

■災害時用食糧の備蓄と避難所用資機材の整備 598万円

災害に強いまちづくりを目指し、災害時に必要な備蓄食料、災害用トイレなど避難所資機材を購入します。

■防災行政無線の運用 1,455万円

災害関連情報などを迅速かつ確実に伝達するため、市内全域に整備したデジタル防災行政無線（同報系）の運営にかかる経費を支出します。また、平成30年度は3年に1度のバッテリー（簡易中継局、スピーカー等）の定期交換を行います。

■市ハザードマップの更新 43万円

府管理河川浸水想定区域等の見直しに伴い、市ハザードマップを更新し、市ホームページに掲載します。

■河川等監視システムの運用開始【新規】 148万円

平成29年度に民間研究所の提供により試験的に設置した、リアルタイム監視カメラ4か所（木津合同樋門、小川、二ツ樋門、木津神田）の運用を開始するとともに、市のホームページでも公開します。

■公共施設の耐震対策 8,931万円

平成28年度に実施した耐震診断結果に基づき、木津老人福祉センター玄関庇の補強工事等を行うとともに、市営住宅ストック総合活用（長寿命化）計画に基づき、市営下川原団地および兎並団地のエレベーターを改修します。

■小中学校における高木剪定【新規】 329万円

学校施設や近隣に影響を及ぼす高木を年次計画に基づき順次剪定することとし、平成30年度は南加茂台小学校と木津第二中学校の高木を剪定します。



©木津川市



河川監視カメラ

■福祉医療費の助成 6億9,803万円

中学校3年生までの子どもや、重度心身障がい児(者)、ひとり親家庭の親および子ども、満65歳以上70歳未満の方などに
対し、安心して医療を受けられるよう、医療費のうち自己負担部分に対し助成を行います。

■自殺予防対策の推進【新規】 338万円

自殺対策基本法の改正に伴い、自殺対策地域連絡協議会および自殺対策庁内検討会議を設置し、自殺対策に関する必要
な事項の検討を行うとともに、本市の自殺対策の展開方策を総合的に推進する計画を作成します。

■障害福祉サービス・障害児通所サービス 14億1,608万円

障がいのある方の地域生活と就労を進め、自立を支援するために必要な福祉サービスの費用を、また障がいのある児童
や未就学児などに対し、日常生活における必要な訓練などを身近な地域で受けられるよう通所サービスの費用を、それぞ
れ給付します。

■障害者地域生活支援 9,496万円

障がいのある方が地域社会において、安心して自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、各種の支援を行
います。

■障害者福祉タクシー利用券交付 449万円

視覚や下肢等に障がいのある方、知的障がいのある方、精神障がいのある方などを対象として、タクシー利用券を交付
します。

■生活困窮者の自立支援 1,257万円

平成27年度から施行された生活困窮者自立支援法に基づき、失業や家庭の
事情などによって生活に困っている方に対し、専門の相談員による就労相談
など自立に向けた支援を行います。

■生活保護 8億5,380万円

生活に困っている方々が、健康で文化的な最低限度の生活ができるよう経
済的援助を行うとともに、自立した生活ができるよう支援します。

■予防接種 2億2,280万円

乳幼児等の予防接種や、高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌の予防接種、妊
娠を希望している女性の風しんワクチン予防接種やその費用助成を行いま
す。

■総合がん検診 1億2,546万円

肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんなどのがん検診
を行います。また、今年度から個別検診(子宮頸がん・乳がん)と、新たなステー
ジに入ったがん検診総合支援事業(子宮頸がん検診の対象となる20歳女性お
よび乳がん検診の対象となる40歳女性への無料クーポン配布)を同時期に実
施し、4月に案内通知、5月から翌年2月にかけて長期間検診が受けられるこ
として受診を勧奨します。



©木津川市

豊かな心を育む教育・文化の創造

■ファミリー・サポート・センター 285万円

育児の援助を受けたい方と育児の援助を行いたい方との会員相互の運営によるファミリー・サポート・センター事業を
実施し、仕事と家庭の両立を支援し、安心して子育てができるための環境整備を図ります。

■病児・病後児保育 167万円

保護者が仕事などの都合により、病氣中または病気の回復期にある児童を自宅において看護ができない場合、医療機関
に付設された専用スペースにおいて一時的に預かり、医師や看護師・保育士がいる環境で、安心できる療養環境と保育・看
護を提供することにより、子育てと就労の両立を支援します。

■第2次子ども・子育て支援事業計画の策定【新規】 700万円(債務負担行為)

「第2次子ども・子育て支援事業計画」(計画期間:2020年~2024年)の策定に向け、今年度は子育て家庭の現状とニーズ
把握のためのアンケート調査などに取り組みます。

■民間保育所・認定こども園に対する給付等 13億62万円

民間保育所や認定こども園等に対する施設型給付や、運営・各種事業等に対する補助で、子どもの健やかな成長のため安
心・安全な環境の下、質の高い教育・保育の推進を図ります。

■第3子以降保育料・幼稚園使用料無償化 7,668万円

第3子以降の保育料および幼稚園使用料を無償化するなど、多子世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てをできる環境づくりを推進します。

■幼稚園・小中学校の空調設備整備

15億3,899万円(うち債務負担行為15億1,400万円)

幼稚園・小中学校の普通教室等へ空調設備をPFI手法で整備します。

■ホップアップ・ステップアップ学習 257万円

小・中学生の基礎学力の向上や中学生の学習意欲を高めるため、ホップアップ学習(小学生補充学習)、ステップアップ学習(中学生補充学習)を行います。

■ICT教育の推進 4,332万円

児童生徒の学習意欲を引き出し、創造力や表現力などを養うため、小・中学校の授業で電子黒板やデジタル教材を活用します。平成30年度は、小学校のクラス数増加に対応するとともに、中学校全クラスへの配置拡充2か年計画の最終年度として、電子黒板等ICT機器を整備します。

■子どもの読書活動推進 2,284万円

全市立小・中学校において蔵書管理や貸出手続を行うための学校図書館システムを活用し、児童生徒の読書活動の推進を図ります。

■心の教育相談員の配置 146万円

府費によるアドバイザー(スクールソーシャルワーカー)の配置のない4校へ教育相談員を配置し、全中学校において、心のケアの充実と不登校や非行等の未然防止のための相談体制の確立を図ります。

■適応指導教室 1,459万円

適応指導教室の通室児童生徒や指導員への相談活動(0.5日/週)を、心理学的な見地から指導助言を行う臨床心理士1人(1.5日/月)の配置を行い、相談体制の充実を図ります。

■いじめ防止対策 337万円

いじめ防止対策推進法に基づき、児童生徒が安心して学習や学校活動に取り組むことができるよう対策を行います。

■教育振興基本計画の見直し 103万円

木津川市の教育に関する総合的な計画として平成25年度に策定した「木津川市教育振興基本計画」の中間見直しを行います。

■京都府産木材使用の作業機の購入 256万円

泉川中学校の美術室作業機が経年劣化しているため、豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、京都府産木材使用の作業機(40台)を購入します。

■木津中学校校舎の取得 2億697万円

木津中学校の立替施行の未買取部分について、国庫負担金を受けて都市再生機構から買い取ります。

■新学校給食センターの建設に向けて 20億8,514万円(債務負担行為)

2020年の稼働に向けて、今年度は施設整備に着手します。

平成30年5月から市内幼稚園3園において、給食のある火・木曜日の午後2時~4時半までの間、預かり保育(自己負担300円/回)を試行実施します(82万円)。



©木津川市

連携を強め地域を支えるネットワークの創造

■奈良線複線化の推進 1億7,473万円

JR奈良線複線化のため、土木・軌道工事や電気設備の支障移転等工事などに対する費用負担を行います。

■コミュニティバスの運行 7,129万円

交通空白地域の解消を目的としてコミュニティバスを運行します。

■地域公共交通の活性化および利用促進 639万円

市民にとって使いやすく満足度の高い公共交通を目指し、木津川市地域公共交通総合連携協議会に負担金を支出するとともに、公共交通だよりやバス時刻表(のるなび)の作成など利用促進を図ります。

■東中央線の整備 2億661万円

城山台地区と国道163号を結ぶ東中央線整備事業(京都府施行)に対する負担金の支払いおよび関連事業を行います。

■市道加1-1号線交差点改良・内垣外内田山線・木津内田山線・木津川台駅前線の整備 1億5,596万円

市道加1-1号線と国道163号との交差点形状が変則であるため、市道部分について道路用地購入および建物等移転補償を行います。

また、城山台地区とJR木津駅西側市街地とのアクセス道路や、木津駅前東線と木津高校を結ぶ道路の整備に向け、用地取得などを進めます。

さらに、木津川台地区と近鉄木津川台駅の徒歩によるアクセスのため、府道八幡木津線とJR学研都市線を上越する横断歩道橋の整備に向け、詳細設計を行います。



東中央線木津川架橋



市道加1-1号線と国道163号との交差点

環境と調和した持続可能なまちの創造

■木津北地区保全推進事業 824万円

学研木津北地区の里山機能向上のため、地域連携保全活動応援団の支援など、豊かな里地里山の維持再生や生態系の保護に取り組むとともに、里地里山の保全活動の推進を目的とした「みもろつく里山学校」の運営を行います。

■クリーンセンターの整備 1億2,449万円

平成30年9月中のクリーンセンター完成を目指して、いよいよ仕上げの段階です。

■ごみの処理 9億9,275万円

可燃ごみの焼却処理にかかる相楽郡西部塵埃処理組合への負担金をはじめ、ごみの収集運搬、燃やさないごみの中間処理などに要する経費です。ごみの適切な処理に努めます。

■ごみの減量化とリサイクル活動の推進 5,595万円

更なるごみ減量・リサイクル施策を実施するため、平成30年10月から家庭系可燃ごみ有料指定袋制を導入します。これに先立ち、制度の周知のため市内各戸にお試し袋を配布するとともに、導入後の配送や次年度用指定袋の作成などを行います。

また、古紙、容器包装廃棄物等を再資源化することにより、ごみの減量化および処理コスト削減、資源としての有効利用促進を図るとともに、雨水タンクや生ごみ処理容器の購入、太陽光発電・蓄電設備の設置に対する補助を行います。

■合併処理浄化槽の普及 1,287万円

水質汚濁の防止と生活環境向上のため、専用住宅に合併処理浄化槽を設置される場合、補助金を交付し普及に努めます。

■公共施設照明のLED化 2億1,354万円

二酸化炭素や電力消費量の削減と、市民の安心・安全な暮らしのために、市内全防犯灯(約8,500灯)のLED化に向けて、導入調査・設計および設置工事を行います。また、ふれあい広場公園、山城図書館の照明のLED化を進め、より一層の省エネに努めます。



クリーンセンター外観

■農地、水の環境保全共同活動の支援 5,112万円

地域農業の発展や地域振興を図るため、農用地、水路、農道、ため池など、農業を支える地域資源を維持管理するための地域における共同活動を支援します。

まちづくりへの参画と協働の創造

■市ホームページのアクセシビリティ向上 695万円

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に対応し、誰もが見やすく利用しやすい、さらにスマートフォンにおいても見やすいホームページを構築します。

■第2次木津川市総合計画の策定 333万円

第1次木津川市総合計画の計画期間が平成30年度をもって満了となるため、第2次総合計画(2019年～2028年)の策定に向け、総合計画審議会や市民説明会の開催などに取り組みます。

■城山台地域内集会所(4棟)の建設 2億4,186万円

城山台地域におけるコミュニティ活動促進のため、集会所(城山台1丁目、6丁目、10丁目、13丁目の4か所)を建設します。

■18歳到達者への選挙啓発 20万円

選挙権年齢の引き下げに伴い、新たに有権者となる18歳の誕生日を迎えた方に対して、バースデーカードと記念品を贈ることにより、選挙に対する意識の醸成と投票率の向上を図ります。

■都市公園・緑地施設等市民自主管理活動交付金 164万円

地域コミュニティの場として、より親しみの持てる魅力ある都市公園・緑地施設等となるよう、地域のみなさんによる自主的な管理活動を支援します。

■証明書等への旧姓記載に向けて 322万円

住民票やマイナンバーカードへ旧姓併記が可能となることに伴い、コンビニ交付システムを改修します。

■奈良市との広域連携【新規】 154万円

奈良市との連携事業として平成30年10月から、奈良市立北部図書館の蔵書を借りることができるようになります。そのために必要な初期投資に対して、奈良市に負担金を支出します。

■市営住宅の改修 322万円

市営住宅ストック総合活用(長寿命化)計画に基づき、下川原団地外壁・シーリング改修工事に向けた設計を行います。

■社会教育施設や体育施設の改修・長寿命化 8,276万円

南加茂台公民館の空調設備更新および屋上防水等改修や、不動川公園テニスコート人工芝の全面改修、やすらぎタウン山城プール1階ホールおよび2階待合所の空調設備改修などを行います。

■中央体育館屋根等の改修 1億4,429万円

平成29年度から、築30年以上が経過し経年劣化が進んでいた中央体育館の屋根やアリーナ等の改修をはじめ、外構補修、照明設備等の改修などを行っています。6月にリニューアルオープンします。

■公共施設の廃止に伴う対応 334万円

プラネタリウム館の閉館や山の家の運営停止に伴い、それぞれ必要な対応を行います。プラネタリウム館では合併浄化槽の洗浄や機械警備継続のための受電設備切替などを、また山の家では門扉の設置などを行います。さらに、加茂プールの跡地有効活用のため、境界確定に必要な用地測量を行います。

■市債の繰上償還 5億2,163万円

1年あたりの元利償還金の大きな市債の繰上償還を行い、将来負担の軽減を図ります。



奈良市立北部図書館内の様子

■兜台保育園の民営化に向けて 3億3,223万円

兜台保育園完全民営化に向けて、都市再生機構所有の敷地を取得するとともに、園舎の譲渡のため、都市再生機構関公費立替金の繰上償還を行います。

■男女共同参画の推進など 740万円

本市の「男女共同参画計画」や「女性活躍推進計画」などにより、男女がお互いを尊重しあい、性別にかかわらず、社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして、個性と能力を十分に発揮できるよう男女共同参画の取り組みを推進します。また、女性センターでは、女性の自立および社会参加の促進や、DV（ドメスティック・バイオレンス）、就労など、女性を取り巻く諸問題の解決に向け取り組みます。

特別会計への繰出金など

■特別会計への繰出金と負担金・補助金・出資金

国民健康保険特別会計	5億1,980万円
後期高齢者医療特別会計	1億5,601万円
介護保険特別会計	6億7,036万円
公共下水道事業会計	8億8,698万円
水道事業会計	7,487万円

■一部事務組合などへの負担金

相楽郡広域事務組合	1億4,620万円
相楽郡西部塵埃処理組合	3億4,260万円
後期高齢者医療広域連合	5億5,251万円
相楽中部消防組合	10億6,812万円
京都山城総合医療センター	5億4,913万円
介護老人保健施設やましろ	5,323万円
広域連合京都地方税機構	5,945万円

都市計画税に関する事業



©木津川市

都市計画税は、市街化区域内にある土地や家屋に対して課税する税金で、都市計画事業に要する費用に使われるものです。都市計画事業とは、道路、公園、下水道などの施設整備や市街地開発です。税率は上限0.3%ですが、木津川市では0.15%としています。

平成30年度予算で都市計画税に関する事業は下記のとおりです。都市計画事業の実施に必要な一般財源11億4,304万円のうち都市計画税4億1,063万円の収入を見込んでいます。

(単位：万円)

事業の内訳	予算額
地区計画道路整備事業	26
東中央線整備事業	20,650
公共下水道事業会計負担金・補助金	88,698
都市計画事業に充当した市債の償還金	25,510
歳出合計	134,884

(単位：万円)

財源の内訳	予算額
市債	18,580
公共施設等整備基金からの繰入金	2,000
一般財源	114,304
歳入合計	134,884

ナント・なら・ずっと!
NANTO 南都銀行

木津支店・上狛支店・加茂支店
ガーデンモール出張所

＼なんでも相談してください。／



関西アーバン銀行 木津支店
木津川市木津駅前1丁目1番
TEL(0774)72-0621

食と地域のパートナー
JA京都やましろ

木津支店 TEL:0774-72-1771
山城支店 TEL:0774-86-2276
加茂支店 TEL:0774-76-2063

市民ひとりあたりの予算額

平成30年度予算を一般家庭の生活費に例えて紹介します。



©木津川市

平成30年度の一般会計予算は、市民ひとりあたりにすると約37万円のお金になります。わが家では、平成30年度に約37万円のお金を使う計画を立てました。前年度の計画と比べて約2万円の減少となっています。使うお金が減った主な要因は、クリーンセンター整備にかかる事業費の大幅な減少などです。また、収入では、給与が約1万円減る見込みであり、親から約7万4,000円の仕送りを受けますが、それでもまだ収入が不足していますので、ローンの借入や貯金を引き出してやりくりしています。

家計の収入のうち最も大きな割合を占める市税については、税目ごとに市民ひとりあたりの収入をまとめると、左下の表のとおりとなりました。市税全体では前年度と比べて増加となっていますが、人口の伸びが大きいいため、市民ひとりあたりで見ると、前年度よりもやや減少しています。

(単位：円)

市民ひとりあたりの収入 (歳入)	平成30年度	平成29年度
給与 (市税、各種譲与税、交付金など)	232,344	240,478
うち消費税率引上げによる 地方消費税交付金の増分	5,883	5,751
親からの仕送り (国庫・府支出金など)	73,547	82,792
ローンの借入 (市債)	32,088	39,713
貯金からの引出し (繰入金・繰越金)	32,683	29,949
合 計	370,662	392,932

(単位：円)

市民ひとりあたりの市税	平成30年度	平成29年度
市民税(個人)	52,366	52,789
市民税(法人)	5,596	5,170
固定資産税	54,648	55,227
軽自動車税	1,948	1,842
市たばこ税	3,833	4,129
都市計画税	5,371	5,429
合 計	123,762	124,586

(単位：円)

市民ひとりあたりの支出 (歳出)	平成30年度	平成29年度
食費 (人件費)	57,601	61,183
医療費、学費など (扶助費)	66,818	65,516
光熱水費、日用品費 (物件費)	54,426	64,144
子どもへの仕送り (繰出金)	24,609	25,046
家の修繕・増改築費 (普通建設事業費など)	53,063	69,172
ローンの返済 (公債費)	42,930	36,176
町内会費、サークル活動など (補助費等)	68,024	68,363
貯金 (積立金など)	3,191	3,332
合 計	370,662	392,932

※金額は、平成30年度と平成29年度の予算額を各年の4月1日現在人口で割ったものです。

平成30年度木津川市予算のあらまし

発 行 平成30年6月 木津川市役所総務部財政課
電話番号 0774-72-0501(代表)
0774-75-1202(直通)
E-mail zaisei@city.kizugawa.lg.jp



みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫がいます。

京都中央信用金庫

木津支店 加茂町支店

☎0774(72)5151 ☎0774(76)2345

棚倉出張所 山田川支店

☎0774(86)3939 ☎0774(72)7111

奈良信用金庫

ならしん 検索



当金庫のキャッシュカードで当金庫
ATMをご利用の場合、ATM入出金手
数料が終日無料!

木津川梅美台
出張所 ☎0774-72-4411

なが——い、おつきあい。

住宅ローン マイカーローン 資産運用

京都銀行はさまざまなシーンで
皆様を応援します!

飾らない銀行

木津支店
京都銀行 TEL.0774(72)2211